

日本を揺るがす大震災発生

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)

3月11日(金)午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0(近代の日本の観測史上では最大)のとてつもない大地震が発生。その影響は、震源から遠く離れた町内にも及び、停電や電話の不通などが長時間にわたって起こりました。

役場では、直後の午後3時に町長を本部長とする災害対策本部を設置。停電のため、非常用電源や発電機で電力を確保し、情報収集や防災無線による広報などを行いました。

また、沿岸の小泊地域に大津波警報が出されたのに伴い、避難指示を発令。到来する津波に備えましたが、幸いにも到達した津波は小規模で、人的・物的被害は報告されていません。

しかし連日報道される内容を見ると、役場ごと流されてしまった町など、津波が町をまるごとのみ込んでいく衝撃的な映像が私たちの目に飛び込んできています。

この地震で亡くなられた皆さまには、心からお悔やみ申し上げますとともに、今も避難されている方々に心からお見舞い申し上げます。

義援金を募集中

—ご協力お願いします—

地震の被災地域を支援するため、日本赤十字社青森県支部中泊町分區では義援金を募っています。

5月末日まで、以下の場所に募金箱を設置しています。みなさまのご協力をよろしく願います。

【中里地域】

役場福祉課/パルナス/中央公民館/みちのく銀行中里支店/つがるにしきた農協中里支店、武田支店、内湯支店

【小泊地域】

小泊支所/すくすくこども館/すくすくしたまえ館/みちのく銀行小泊支店/小泊漁協/下前漁協

※戸別訪問の募金活動は行っていません。

広がる支援の輪

町内で行われた被災地援助

■三上さん、(株)長幸が避難所を支援(3月12日)

停電のために設置した避難所(パルナス)を支援しようと、三上敏彦さん(五林地区)と(株)長幸(代表取締役 長利忠道)が、お米を提供してくれました。お米は、避難所にいる人たちへ、おにぎりにして提供しました。

■今泉地区では独自の避難所(3月12日)

今泉地区では、泉寿荘管理人を中心にひとり暮らしの世帯を回り、ストーブがつかなくて困っている世帯などの住民約15人を集会所に集め、発電機を使って電力を供給し、暖を取りました。

■運送会社が救援物資提供を呼びかけ(3月15日)

運送会社からの打診で、救援物資(毛布、カセットコンロなど)の提供を防災無線で呼びかけました。反応が非常に大きく、呼びかけから4時間足らずで予定していた量を確保しました。従業員の伊藤さんは「被災地にこの思いが届けばいいと思う」と皆様の善意に感謝していました。

■町からも支援物資(3月18日)

町でも被災地に何かできないかと考え、青森県町村会の支援要請に応じて、米2.1トンを支援物資として送りました。



■中里幼稚園児が街頭募金(3月25日)

中里幼稚園では、中里ショッピングセンター「ベル」

前で、被災者への募金を募りました。寒空の中、園児たちが支援を呼びかけ、多くの人が足を止めて募金箱



の中に義援金を入れていました。集まった募金70,560円は、日本赤十字社を通じて送金されました。

■被災地へ職員派遣(3月26日)

被災地の自治体職員が、深刻な人手不足に陥っているのを受け、職員3人が派遣されました。今回派遣されたのは、保健師2人と一般職員1人で、出発の朝は町長や関係職員が見送りました。今後も要請があれば、被災地へ職員を派遣する予定です。



■「かけはし」が義援金寄付(3月30日)

町で、グリーンツーリズムを通じた活動を行っている「かけはし」が、活動で得たお金の中から、被災地への支援金として33,600円を、赤十字に寄付しました。

このほか、町で把握していないものも含め、さまざまな支援が行われているようです。皆様の温かい支援に、心から感謝申し上げます。

国保から

シリーズ 高齢者ボランティア

④ 小泊地区

町の国民健康保険が行っている高齢者ボランティアを紹介するシリーズ。今回は小泊地区での活動を紹介します。

会場の小泊保健センターでは、エコバッグづくりのほか、転ばない体操なども行われ、12人が参加。会員の藤田美智子さんは「今回の高齢者ボランティアでは、みんなでいっしょに物づくりをすることがこんなに楽しいものなのか、ということをお教えていただきました。なかなか外に出ない私ですが、このような機会をいただいて本当に楽しいひとときでした」と話していました。



大賞を受賞した升田君に改めて話を聞くと、「出場は今年が3年目。1年目はロボットが動かず、2年目は2回戦で敗退した。今年はほかのみんなも強かったが、まさか大賞をもらえるとは思っていなかった」と驚きを語りました。

この日は、同クラブ会長の沼田さん、専任指導員である相澤先生と一緒に訪れ、大会での健闘ぶりの報告と、ロボット操作の実演を行いました。ロボットコンテストでの競技は、いかに相手の陣地へブロックを投げ込むことができるかを競うもので、升田君のロボット「エリザベス」は、前のアームで次々と背中ブロックをためていき、一気に背中から相手へはき出すというものでした。指導を担当している相澤先生によると、「製作期間は1か月。本人が何回も試行錯誤して作り上げた。普通は市のクラブが取る賞を今回もらえたのはすごいこと」と、同クラブの活動を伝えていました。

町長に喜ぶの報告

升田蓮くん

ロボコン大賞受賞で

まちの話題



3月号でお伝えした小泊少年少女発明クラブ升田蓮くん(小泊中1年)のロボコン大賞受賞報告ですが、その升田くんが3月8日(火)、受賞したロボットを持って町長を表敬しました。



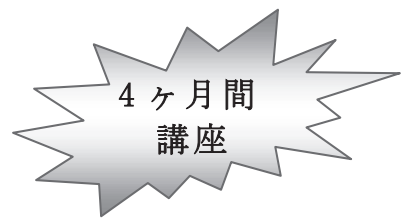
動くロボットを町長に披露

広告

【警備保安員基礎研修講座】

6月開講 受講生募集

受講料無料で更に「生活支援給付金」が支給されます。10万/月~12万/月支給(要件有り)



警備業検定には

- ★空港保安警備業務
- ★施設警備業務
- ★雑踏警備業務
- ★交通誘導警備業務
- ★核燃料物質等危険物運搬警備業務
- ★貴重品運搬警備業務

更に1級・2級があります。 ※資格取得は、検定試験が必要です。

申込期間 平成23年4月4日(月)~平成23年5月6日(金)
 訓練期間 平成23年6月8日(水)~平成23年10月7日(金)
 訓練時間 9時00分~15時40分
 訓練場所 ディスパッチカレッジ警備保安五所川原教室
 五所川原市字鎌谷町140番地 かまやセンター2階
 選考日 5月9日(月)【面接】
 選考結果 5月11日(水) ※郵送にて通知致します。
 受講料 無料(教材費 14,255円、傷害保険は自己負担)
 募集人数 30名
 受講申込 その他 ハローワークで申込み下さい。
 ●警備保安員として従事希望する方
 ●心身ともに健康な方
 ●キャリアアップを希望する方
 ●当社は就職アドバイザーを配置し、就職支援業務を行っております。
 ●駐車場ご利用希望者の方は、月4,000円で当社指定の駐車場有り(徒歩5分程度)

問合せ先 TEL 0173-26-1192 塚本 迄
 送付先 〒037-0305 青森県北津軽郡中泊町大字中里字紅葉坂55-7
 株式会社ディスパッチ教育事業部
 ディスパッチカレッジ五所川原教室